

発行  
平成30年  
1月26日  
第82号



発 行 者  
長野県下伊那農業高校  
同 窓 会  
TEL(22)5550  
FAX(53)0339  
編集・発行  
同 窓 会 幹 事 会  
印刷 龍 共 印刷

# 創立百周年記念事業に ご理解とご協力を

同窓会長 関 島 伸 喜 (高13回卒)



同窓生の皆様におかれましては、それぞれのお立場でお仕事にまた地域活動に、意欲的に取り組まれておられる事と拝察し、心から敬意を表します。

母校創立から百年という歴史的な時を迎えるに当たり、三年前に決定された記念事業の遂行に向けて、鋭意取り組んでおります。御協力頂いている募金の進捗に合わせて、学習棟建設記念誌発行等々、主なる事業を進めつつ、二〇二〇年十月記念式典を迎えようとして計画致しております。

既に一昨年末支会長さんを通じて記念事業への寄付金の御協力をお願い申し上げて居るところであります。各支会の役員の皆様には大変なお骨折りを頂いて居り、また会員の皆様には主旨をご理解賜り、積極的なご協力を頂いて居りますことにご心より御礼申し上げます。一月末に支会長及び事務

局の方々にお集まり願ひ、募金活動の進捗状況をご報告いただき、今後の活動について協議し、計画の実現に向けて更に歩みを進めて参りたいと思っております。

本部役員として校長先生校内幹事の先生方と共に地域に向き、多くの企業に記念事業への協力をお願いして居るところであります。各社を訪ねる中で最近の下農卒業生の高い評価を聞き

OBとしても大変うれしく感じております。また企業の幹部として多くの同窓生が就かれておられ、記念事業にも深いご理解を頂き心強い限りであります。そして多くの先輩がそのあとに続き、地域産業の人材の循環に大きな役割を果たしている事を実感して参りました。

ところで一万八千を超える同窓会員の皆様に、活動の状況を合理的にお伝えする術が少な過ぎて申し訳ありません。支会長を通じてお聞き頂く事、またこの稲丘時報をお配り頂きご覧願う事と、インターネット上で母校のホームページに同窓会情報を掲示して頂いて

おりますので是非ご覧願ひたいと思ひます。人口減少に伴い高校志願者数も激減が予想され、第二次高校再編の取組みが始まって居る事はご承知の事と思ひます。大正九年郡立の農学校として創立されて以来、農業教育の専門学校として、この地域に人材を送り続けている役割は、今も変わりは有りません。高

学歴、都会志向の強かった時代においても、黙々と時代においても、

## ご挨拶

学校長 嶋 崎 文 男 (高28回卒)



域と共に在る農業教育の理念を貫き通してきた事は、現在の飯伊地域の地場産業の基礎を支え続けている事に繋がっていると思ひます。農業軽視の時代は過去のものとなりつつあります。農業の大切さ、必要性に若者たちが気付き始めたような気が致します。そうした中、自らの意思で農業高校に入

学し、生き活きたした学園生活に励む下農生の姿はとても印象的で頼もしく映っ

ましては、日頃より母校に對しまして、物心両面のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。殊に創立百周年記念事業に對しましては、募金活動等におきまして多大なご協力をいただいておりますことにご心より感謝を申し上げます。さて、母校の近況を申し上げますと、本年度も在校生の活躍が目立つ、活気みなぎる年となりました。ク

ラブ活動においては、七人制ラグビーの全国大会出場をはじめ、吹奏楽班の東海大会金賞初受賞など、運動班・文化班を問わず多くの班が素晴らしい成果を収めました。また、学習面でも、農業クラブや資格取得等において素晴らしい成果を収めています。そして、これらの成果が卒業後の進路にも繋がっていると感じております。こうした背景には、明確な目的意識と意欲を持つ生徒が多くなっていることに加え、先生方の献身的な指導があると思っております。また、それと共に同窓生並びに地域の皆様方のご理解とご協力の賜である

ております。百年の歴史の積み重ねの上に、これから母校に学び未来を担う後輩の為に、更なる教育環境の整備、充実を計る必要があると感じております。同窓生の皆様には尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げます次第であります。

心より感謝を申し上げます。紙面の関係上、成果のすべてを紹介することはできませんが、その一端を掲載させて頂いたのであります。ぜひご一読いただければ幸甚です。

ところで、昨年も同じようなことを記したかと思ひますが、今後日本でもグローバル化やAI(人工知能)化が一気に進み、近い将来今ある職業の約五〇%が無くなると予想されております。こうした事態に對するため、小学校から大学まですべての校種で、従来の教え方や学び方を変えていかなければならないと言われており、少子化に伴う高校の再編・統合を含めた「学びの改革」がいよいよ具体的に動き出そうとしております。

今まさに、高校教育は大きな転換点を迎えるようになっています。本校に對する地域の期待を考へる時、今後農業教育を柱にして、引き続き地域に貢献できる人材

### 稲穂会マレットゴルフ大会

稲穂会部長 小 島 かづる (高17回卒)

の育成を図っていきたいと  
 考えておりますが、「学び  
 の改革」においては、すべ  
 ての高校が対象となってお  
 り、本校も例外ではありま  
 せん。つきましては、同窓  
 生の皆様方におかれまして  
 も、本校も含めたこの地域  
 の高校教育のあり方につい  
 て、一緒になってお考えい  
 た、ただればと思っております。

朝から絶好のマレットゴ  
 ルフ日和。緑の風に包まれ、  
 恒例の第十二回稲穂会マ  
 レットゴルフ大会が、六月  
 十七日(土) 松川清流苑で  
 四十名の会員の参加で開催  
 されました。十二回ともな  
 れば、顔見知りも増え、卒  
 業回数に関係なく笑顔であ  
 り、和気あいあい。いざ始  
 まると、所々で勝負顔を見  
 せながらも、木々の間から  
 時々ワーツと歓声があがっ  
 たり、前が詰まっている間  
 は近況を話したり、心地良  
 い深緑の中でプレーを楽し  
 むことができました。約二  
 時間楽しんだ後は、お忙し  
 い中、駆け付けて下さった  
 関島同窓会長さんと一緒に  
 苑内で昼食。その後、お楽  
 しみの成績発表と表彰に移  
 りました。生徒さんが実習  
 で栽培された野菜や、加工



品等をいただき、来年を乗  
 しみに散会となりました。現  
 在稲穂会では、二〇二〇年  
 の一〇〇周年祝賀会(祝宴  
 )に向けた余興(ベル・歌)  
 の練習を始めています。二  
 十余名の参加で、全員が集  
 まれることはありませんが、  
 月一回、慣れない楽譜をみ  
 ながら励んでおります。

### 第26回親善ゴルフ大会を振り返り

事務局 岡 島 正 人 (高26回卒)

去る六月二十九日、第二  
 十六回親善ゴルフ大会が、  
 あららぎカントリーで開催  
 されました。芝生に朝露が  
 光る高原の早朝らしい雰  
 気の中、六時四十五分から  
 のスタートで大会が始まり  
 ました。今年のワンオン賞  
 は、多くの方が獲得しやす  
 いようにと、一番距離の短  
 い十七番ホールに設定され  
 ました。表彰式では関島同  
 窓会長より創立百周年記念  
 事業に向けての取り組み状  
 況と、募金への協力要請等  
 の挨拶がありました。和や  
 かな雰囲気の中で進められ  
 た懇親会も出席者全員の万  
 歳をもつて盛会の中、無事  
 終了できました。一日のゴ  
 ルフや懇親会を通じ、お互  
 いの仕事や近況を語り合う  
 中で、卒業生相互の交流が  
 図られた事と思います。

毎年二百名以上の参加を  
 いただき、世代を超えて相  
 互の交流、親睦が図れるゴ  
 ルフ大会は下農同窓会事業  
 の中でも、大きな役割を占  
 めるものです。さらに母校  
 の後輩の皆さんの活躍の一  
 助となるよう、毎年寄贈さ  
 れる二十万円程のチャリ  
 テイ募金も、大きな意味の  
 ある活動と自負できるもの

です。

この親善ゴルフ大会は、  
 平成元年、竹下肇さん、林  
 二郎さんらの大先輩を中心  
 にゼロから立ち上げてこら  
 れ、今日まで脈々と受け継  
 がれ「県下一の同窓会ゴル  
 フ大会」と誇れるまでにな  
 りました。これは先輩役員

方の御尽力と、  
 卒業生の母校  
 に対する想いの  
 強さの賜と、  
 現役員の一人  
 として只々、  
 頭の下がる思  
 いです。  
 今後とも同  
 窓の皆様のご  
 ルフ大会への  
 一層の御協力  
 をお願い申し  
 上げます。

### 下農同窓会親善ゴルフ大会成績

#### 支会対抗の部

優 勝	上郷支会
準優勝	神稲支会
3 位	伊賀良支会
4 位	竜丘支会
5 位	泰阜・下條支会



#### 個人の部 (敬称略)

優 勝	川上 勝彦	下條支会
準優勝	壬生 一昭	神稲支会
3 位	日置 善隆	上郷支会
4 位	熊谷 則夫	竜丘支会
5 位	上沼 隆	神稲支会
6 位	青木 成人	上郷支会
7 位	宮島 和男	下條支会
8 位	松岡 武人	河野支会
9 位	新井 正彦	伊賀良支会
10 位	中平 和弘	大島支会



# 地域で活躍 社会で活躍

## 平谷村村長

小池 正 充 (高13回卒)



中心の村でしたので、林業の衰退する中で自然を生かした観光業を中心の村へと事業の推進を進めてまいりました。

私は、昭和三十六年三月の高校卒業と同時に、平谷村での生活が始まりました。高度成長期の前で就業の場も少なく、村の農業共済組合で働きながら、農業をしてまいりました。その後、経済の上昇に伴い村内にゴルフ場が建設され、同時にゴルフ場に転職し定年まで働きました。定年後に村民よりの強い要請、応援を得て村長職に就くことになりました。卒業して五十七年余、月日の流れの早さを感じている今日です。

就任時、平谷村では財政が非常に厳しく、私は身を切って給与の引き下げ、歳出の見直し等を実施しながら財政の健全化に努めながら、村のかじ取りをおこなってききました。林業経営

かつては、木炭、薪、木材等を主産業とした典型的な山村でしたが、産業形態の変化、化石燃料の普及により、山林の価値が低下する中で村の産業構図が観光産業に変わってきました。

平谷村は長野県の最南端に位置し、標高九百二十m(役場位置)の高原の村で、年間平均気温は十三度と低く、年間降水量は二千七百三十mmを超える多雨地帯です。

村の面積七十七、四平方kmの内九十六、七%は山林で、平坦地の少ない典型的な山村です。

人口は昭和十年の千五百八人をピークに減少を続け、現在は四百三十六人(平成二十九年十一月一日)で長野県下最小となっています。

平谷村は、村の中を南北に流れる平谷川は矢作川の最上流で、愛知県、岐阜県、長野県と水源地域が三県にまたがっています。今こそ行政の枠は異なりませんが、歴史をひも解けば平谷村は矢作川や三州街道でつながる美濃や三河の領土だったのだろうと思われま

す。林業の低迷、林業従事者の高齢化など厳しい環境下ですが、平谷村では上下流域が抱える問題も理解していただき、水源かん養林として源流域の森林の保全を供に考えながら、きれいな水を使えるようにと、山林の手入れを行っているところ

です。平谷カントリークラブ、平谷高原赤坂スキー場、平谷温泉ひまわりの湯等の開業により、平谷村を訪れる観光客数が圧倒的に増加しました。その後さらに道の駅信州平谷、平谷湖フィッシングスポット等が整備されて、観光の村として、現在では年間を通して、ひまわりの湯を中心に多くの観光客が訪れています。交流人口の増加により換金作物として、高原野菜の作付けの促進に一丸となって、取り組んでいるのが現在ですが、村の安心、安全の確保しながら、地域の発展を目指し、リニアの開通等を生かし若

者が希望の持てる地域づく

りのために微力ですが任を行っていくつもりです。下農同窓会のご発展と伺

## パラリンピック出場 (パラアイスホッケー)

熊谷 昌 治 (高45回卒)



私は平成五年に農業機械科を卒業し、飯田市内の自動車整備会社に勤務して

いましたが、平成二十年八月バイクによる交通事故に遭い右脚の膝から下を切断する障害を負ってしまいました。当時私は、働き盛りの三十三歳。妻と小一の長男五歳の長女をどうやって守っていけるか、不安で仕方ありませんでした。

そんな中パラスポーツに挑戦し始め、車いすバスケ、水泳、陸上、ボートなどを経験し生活にも自信をとり戻し、平成二十二年に自動車整備の経験を生かし自営業を開始すると同時に、パラアイスホッケーという競技に出会い、世界で活躍するパラリンピアンを目指し仕事の合間にトレーニングをし、岡谷市にあるスケートリンクに通いました。三十五歳から始めた遅咲

窓生のご健勝、ご活躍されることをご祈念申し上げます。

きのプレーヤーとして早く代表メンバーに追いつきたいと必死にトレーニングに励みました。氷上の格闘技と呼ばれるこのスポーツは激しいぶつかり合いだけがをすることもありません。世界で戦うためのフィジカル

を身に着け臨んだソチパラリンピック最終予選では僅差で予選敗退。悔し涙が止まりませんでした。予選敗退から休むことなくトレーニングを再開しました。チームスポーツではあるものの自分の力不足と戒め、己の技術を磨きチームに貢献しようとする努力しました。



徐々に世界大会で得点をとれるようになり日本代表副キャプテンを任せられました。何としてもパラリンピックの舞台に立ちたい一

心でがむしゃらでした。

私がかこまで頑張る理由は家族の存在があるからです。障害を負い悲しんでいる姿を妻や、子供に見せてしまった時期もありました。

しかし家族にとつてかっこいい父親でありたい。それが自分の目標であり、パラリンピックに家族を連れていきた。それが夢でした。

平昌パラ出場権をかけた最終予選に出発する前に、家族や周囲の応援してくれる方に、必ず決めてくれる約束をしました。

宿敵ドイツとの初戦で開始早々自分が得点する事ができ、チームも勢いに乗り勝利。その後もスウェーデン、スロバキアに勝利し自力で出場権を獲得しました。

遠く離れた日本で、



### 平成29年度の支会総会開催状況

事務局が把握しております支会活動状況をお知らせします。本年度は創立百周年記念事業に関する議題が大きく取りあげられるとともに、より多くの会員が参加できるように諸行事を取り入れるなど工夫をこらす支会も多くありました。

- 市役所支会 三月 八日
- 座光寺支会 四月 八日
- 伊賀良支会 五月十五日

インターネット中継で応援

してくれていた家族からはうれしいメッセージが届きました。

「お父さんかっこよかったですよ。お父さんが努力したから夢が叶ったんだよ」

障害を負ってから目指した夢は決して楽なものではありませんでした。パラリンピックを迎えるときには四十三歳。この年齢になっても目標や夢があることは本当に幸せなことだと感じています。

父としてまた日本の代表として精一杯全力を尽くしてまいります。

千代支会 五月十七日

東京支会 六月 三日

松尾支会 六月 七日

下久堅支会 六月十三日

山本支会 六月十八日

神稲支会 七月 九日

上郷支会 七月十七日

売木支会 九月 九日

喬木支会十一月二十三日

事務局には、支会担当の校内幹事があります。支会より要望等がありましたらお寄せください。

# 運動班の活躍

## 七人制ラグビー全国大会へ

ラグビー班 アグリサイブス科3年 中塚 悠斗

私たちのチームは、もともと部員数が少なく試合には合同チームでしか出られなかった時期が続きました。が、四月に入り多くの新入部員が入部してくれたこと

や新しい顧問の先生もこれれよい流れが生まれました。部員数が増えたことや少人数ではあまりできなかった練習も部員数が増えることによりできるようになりました。

七人制ラグビーに向けてタックルやスペースの使い方について多くの練習時間を使うことができました。四月三十日に七人制ラグビーアシックスカップ長野県予選

が始まりました。初戦の相手校は飯田高校で強豪相手

にどのような展開になるかわかりませんでした。試合開始の合図が鳴りキックオフで試合が始まり前後半あ

せて十四分の試合、ワンプレーごと集中し自分のできることを下向きにやり続け

ました。この試合が終わってみると二十二対十二で勝

つことができました。このままの勢に乗って私たちは二回戦の岡谷工業高校にも二十四対十二で勝ち、あれ

よあれよという間に決勝戦、相手は飯田OIDE長姫高校となりまし

た。肉体的にも厳しいと思っ

ていましたがチーム全体の方で踏ん張り、二十六対十九で優勝することができ全国大会への出場権を獲得することができました。全国大会へ出場が決まりこの間

私たちはわくわくする気持ちや全国大会へ出場するど

きどきとした不安もあったので日々の生活や練習をし

っかりと取り組むことにしました。そこからの練習

は十五人制を中心に七人制の練習をしました。アシッ

クスカップ第四回全国七人制ラグビー大会が始まりま

した。十四日の午前中は天

白グラウンドで練習をして

から東京へ向かいます。東京に着き江戸川区のグラウ

ンドで開会式が行われ、本

番は翌日十五日午後四時

からの試合に合わせてアップを行いました。予選プール

Pの私たちは初戦の相手は福岡県立筑紫丘高校です。

試合開始の合図がなったとき全国のプレッシャーや全

国の舞台でミスしてはいけないなど余計なことが頭を

よぎり試合に集中できないうちに相手にトライをされ

てしまいました。前半四分にはキャプテンがトライと

決め同点となりましたが、後半は体力が持たずに二本

のトライをとられ負けてしまいました。今回全国の相

手に二本差で負けてそんな

に差はないように感じまし

た。二回戦

流通経済大

学付属柏高校は全国でも屈指の強豪校です。自分たちなら大丈夫と思っ

トで長崎北陽台高校と戦う

ことになりました。これからの戦いは一度負けるとそ

こで全国大会が終わるものです。午後五時二十分キッ

クオフとなるので入念にアップをおこない万全の体制で試合にのぞみました。

試合が始まると四本のトライをとられてしまいあきら

めそうになりながらも最後にキャプテンからのパスで

自分がトライを決めることができ

ました。全国大会は終わってしまいましたが、あ

のときのプレッシャーや最後まであきらめない心を

忘れずにこれからの人生に役立てていきたいです。



# 水泳同好会 北信越大会出場

水泳同好会 農業機械科1年

上 田 慶次郎

高校へ進学して、初めての  
高体連の大会で北信越大  
会に出場することが決まっ  
たときは、嬉しさよりも驚  
きの方が大きかったことを  
覚えています。

長野県の選手には速い選  
手が多いので、自分の今の  
レベルでは県大会でも通用  
するの不安がありました。

南信大会のレースでは納  
得のいくタイムが出ず、不  
安が大きくなるまま県大会に  
臨みました。県大会当日  
は、不安と緊張がたたくさん  
あったけど、今までの練習  
を信じて二百メートルの平  
泳ぎに挑みました。結果は  
自分が思っていた以上のタ  
イムが出て、七位で北信越  
大会出場が決まりました。

この時に今までの不安が一  
気に吹き飛んで、驚きと  
ホッとした気持ちが込み上  
げてきました。その調子で  
二日目の四百メートル個人  
メドレーに挑みました。結  
果は四位でこの種目でも北  
信越大会を決めることが出  
来ました。

県大会が終わってから北  
信越大会までの期間は、泳  
ぎこみとフォームの確認を  
して、レースが近くなるに

つれて大会を想定した練習  
が多くなってきました。こ  
の練習で自分も調子を上げ  
ていくことが出来ました。

そして北信越大会の日が  
来ました。初めての大会  
だったので、挑戦する気持  
ちを忘れずにレースをしよ  
うとモチベーションを上げ  
ていきました。周りの選手  
には県外の選手もたくさん  
いたので、県大会以上に緊  
張しました。初めての会  
場、初めて見  
る選手たち、  
どれも初めて  
のことばかり  
だったのです  
が、逆にそれ  
がワクワクし  
ました。そう  
していざレー  
スに挑むと、  
いつも以上に  
体がよく動い  
て二種目とも  
ベストに近い  
タイムで泳ぐ  
ことが出来ま  
した。特に四  
百メートル個  
人メドレーは  
あと少しで決  
勝レースに残  
れるタイム

勝レースに残  
れるタイム



だったので、悔しい思いも  
ありましたが、内容の濃い  
レースが出来たので、嬉し  
さの方が大きかったです。  
一年生の北信越大会は挑  
戦を忘れずにレースができ  
た大会でした。次は二年生  
として高体連に出場しま  
す。二年生は中だるみの学  
年といわれており、競技や  
生活もたるとなってしまうとい  
われがちですが、そんなこ  
とにならないように練習に  
全力で取り組んで、北信越  
の決勝、更にはインターハ  
イを狙っていききたいと思  
います。今後も応援よろしく  
お願いします。

# 柔道班 北信越大会出場

柔道班 アグリサービス科3年

北 沢 実智瑠

私たち柔道班は今年、高  
体連柔道大会で北信越大会  
に出場しました。本校の柔  
道班が女子団体で北信越に  
出場したことはなかったた  
め、とても緊張感のあるい  
い経験ができました。

私たちは三年生一人、二  
年生二人、一年生三人の計  
六人で日々練習しています。  
人数が少ないため全員が集  
まれないと思ったように練  
習ができません。本格的な  
練習ができる時間も限られ  
ている為、各自道場に行っ  
て練習しています。また柔  
道を指導してくれるコーチ  
もいないため、みんなで練  
習内容を考えながら班活動  
を行ってきました。

遠征や合同練習に行く  
他校との練習量や技術の差  
が歴然としていて、班員全  
員が試合を前に焦りを感じ  
ました。そこで、練習の後  
に反省の時間をとり、それ  
をノートに書いていくこと  
を始めました。この行動に  
は三つの意味があります。

一つは、各自反省をし相  
手からも意見をもらうこと  
で、自分に何が足りないの  
かを考えることができ、次  
からの練習に活かす事がで  
きる。

二つ目は、先輩後輩関係  
なく良かったことや悪かつ  
たことを言い合うことでチ  
ームワークが育つこと。

三つ目は、試合前に書き  
溜めたノートを見ることで  
自信がつくと考えました。  
この方法を試合まで継続し  
気持ちを高めていきました。  
南信大会の相手は辰野高  
校でした。毎回南信大会で  
辰野に負けていたので、今  
回こそはという思いで挑み  
ました。結果は、二対〇で  
久しぶりに辰野高校に勝ち  
この大会で優  
勝することが  
できました。

南信大会で  
得た課題を話  
し合い練習内  
容を組み直し  
ました。県で  
も通用する様  
にトレーニング  
を増やし、  
ランニングで  
持久力も鍛え  
直しました。

試合が近づく  
につれ班員の  
気持ちも高ま  
り、全員が北  
信越に行くこ  
う気持ちで



県大会へ臨みました。  
県大会当日、一回戦目は  
中野立志館高校で、今まで  
に負けたことのある相手で  
した。

私達のチームの対策をさ  
れていて思った様に技をか  
けることができず、苦戦し  
ながらも二対一で一回戦を  
突破することができました。  
二回戦目は優勝候補であ  
る松商学園高校に奮闘しま  
したが、二対〇と惜しくも  
敗退しました。

二回戦で負けてしまいま  
したが、北信越出場をかけ  
た三位決定戦で松代高校と  
戦いました。とても白熱し  
た試合で大将戦で決着がつ  
き結果は、二対一で私達が

勝つことができました。目標としていた場所に  
出場できると決まった時はとても嬉しく、また身が引き締まる思いでした。

北信越大会では新潟県一位の日本文理高校と対戦しました。結果は負けてしまいました。試合のためにはやってきたトレーニングの成果や、反省会を通して見えた自分の課題に真摯に取り組んだ成果が見られる試合でした。

## 剣道班 南信地区一位

剣道班 園芸クリエイト科2年

朝山 珠夢

夏の高体連から始まり、十月・十一月の新人戦が終わり、今までの結果を思い出し、今までの結果を思い出し、総体及び新人戦の南信大会では個人戦優勝と二連覇を果たしたことはとてもうれしく、自分にとってもプラスになることがたくさんありました。私は、試合前になると緊張が激しく、上手く試合を自分のペースで回すことに時間がかかってしまいますが、そこで焦らず、自分のとれるところで勝負しようという気持ちで試合に向かいました。一試合一試合で、四分間集中を切らさない。少しでも気を抜いてしまうと、そこが自分の隙になってし

まうので、最後まで気を抜かず、一瞬の隙をついて一本を取りに行きました。そんな試合を繰り返す中で少しずつ緊張も解け、良い緊張感を持ってるようになり、自分の体調が良い状態



夏の高体連から始まり、十月・十一月の新人戦が終わり、今までの結果を思い出し、総体及び新人戦の南信大会では個人戦優勝と二連覇を果たしたことはとてもうれしく、自分にとってもプラスになることがたくさんありました。私は、試合前になると緊張が激しく、上手く試合を自分のペースで回すことに時間がかかってしまいますが、そこで焦らず、自分のとれるところで勝負しようという気持ちで試合に向かいました。一試合一試合で、四分間集中を切らさない。少しでも気を抜いてしまうと、そこが自分の隙になってし



夏の高体連から始まり、十月・十一月の新人戦が終わり、今までの結果を思い出し、総体及び新人戦の南信大会では個人戦優勝と二連覇を果たしたことはとてもうれしく、自分にとってもプラスになることがたくさんありました。私は、試合前になると緊張が激しく、上手く試合を自分のペースで回すことに時間がかかってしまいますが、そこで焦らず、自分のとれるところで勝負しようという気持ちで試合に向かいました。一試合一試合で、四分間集中を切らさない。少しでも気を抜いてしまうと、そこが自分の隙になってし

## 学芸班 農林家班の活躍

### 吹奏楽班東海大会

吹奏楽班顧問

### 四年連続出場

滝 沢 裕 基

本校吹奏楽班は、おかげさまで本年度も長野県吹奏楽コンクールB編成の部において県の代表として推薦を頂き、四年連続で東海大会出場を果たしました。東海大会はB編成における最上位の大会で、本年度は念願であった金賞を初めて受賞することができました。

今年取り組んだ曲は、保科洋作曲の「復興」という作品です。この曲は浜松市に拠点を置くヤマハ吹奏楽団の委嘱作品で、ヤマハ吹奏楽団がたどった五十年の歴史に思いを馳せつつ、未来への更なる飛躍をイメージして作曲された壮大で大変ドラマチックな作品です。それだけに難易度も高く、本番まで悪戦苦闘の毎日でした。

昨年八月、私達吹奏楽班は東海大会四年連続出場し、金賞を受賞しました。結果発表では、念願であった金賞受賞に班員全員が喜びに沸き、その瞬間は今でも忘れることができません。今回取り組んだ曲の楽譜が初めて配られた頃は、技術が足りず、今年には東海大会には行けないのではと心配に思うこともありましたが、個人の技術を上げるために、個人練習を多くし、班員の全員の前で一人ひとり吹いて度胸をつけるといった練習も取り入れました。中には、思うように音楽がでず、毎日悔し涙を流している人もいました。私は、班長としてその人達に声をかけ、話を聞き、なんとかいい音楽をみんなできると励みました。

夏のコンクールのために胸を熱くし、色々な思いを

## 東海大会出場へ

吹奏楽班班長 食品化学科3年

松尾 美佑

の関わり方に悩む事も多く、予測できない様々なトラブルに見舞われながらも、生徒たちは、本番の直前まで一切妥協することなく、熱く感謝申し上げます。

心に自分の目の前の音楽に取り組んでいました。その成果が、東海大会金賞という快挙とも言える結果に繋がったのだと感じています。最後になりましたが、本校吹奏楽班が活動できるのも、日ごろより支え、見守って下さる保護者の皆様、諸先輩方をはじめとする地域の皆様のご理解、ご支援あつてのことです。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

背負って練習に取り組んできた班員達がいだからこそ、今回のような結果が出たのだと思います。失敗や辛い思いも沢山してしまっただけで、それがなければここまで来るとは出来なかつたでしょう。

最後に、今まで熱心に指導して下さった先生方、温かく見守り、支えて下さった保護者の皆さん、地域の方々、本当にありがとうございました。



### 全国産業教育フェア秋田大会 フラワーアレンジメント競技三年連続出場 フラワーアレンジメント競技指導顧問 大池 朋美

フラワーアレンジメント競技の担当を、四月に赴任したばかりの私にそんなお話をいただきました。講師の先生のお力もお借りしながら、初めて会った草花班

練習しました。ここ数年の最優秀賞を受賞したというプレッシャーを生徒とともに感じつつも、楽しんで競技に挑もうと頑張ってきました。

県大会は、規定とフリー作品で競われますが、緊迫した雰囲気と緊張感で練習の成果が出せなかった部分もありますが、三年生の森口さんが最優秀賞を受賞し、全国フラワーアレンジメント大会に出場することになりました。

秋田県で開催された全国大会は、事前にテーマや花器、花材の一部が公表されました。普段扱ったことのない観賞用の稲穂は思うような方向を向かず、グリーンへの扱い方にも試行錯誤する日々が続きました。同じ花でも一本、一本大きさも違い、それぞれの顔があり、癖もあります。配布される花材によっても変わりますが、使い次第で自分らしさを表現することもできます。全国大会では、共通の花材、テーマを基に作品を制作しましたが、完成した作品は個性があふれていました。

今回は、残念ながら入賞することはできませんでしたが、繊細に細部まで作品に気を配った森口さんらしい作品が仕上がったと思います。何より、今までで一番

### 全国産業教育フェア 秋田大会に参加して 園芸クリエイト科3年 森 口 沙 弥

私は、秋田県で行われた全国産業教育フェアに出場しました。県大会は二年前出場させていただきましたが、全国大会に出場できたのは今年が初めてでした。

全国大会のテーマは「みのりの秋」。花器や花材が指定されており独創性を出すことが困難でした。私なりの秋らしさを表現するため、地元の稲刈りの風景や小中学生の頃歩いた通学路の落ち葉や木の実、収穫される果物や穀物など様々な秋をイメージしました。その中でも籠から果物や穀物が溢れ出す豊作の様子を表現しようと考えました。

自分の中のテーマが決まっただけでは、実際に花材を挿していききました。指定された花材の中には観賞用の稲が含まれており、悩みましたが、先生や講師の方のアドバイスをいただきながら、自分が納得できるデザインができました。

大会当日、私は不安な気持ちで一杯でしたが、楽し



ることなく取り組みました。これまで努力してきた時間とその姿勢、思いを今後の生活で生かし、頑張りたいと思います。

みなながら花を挿すことを意識し、集中して取り組み、ムズに花を挿すことができ、焦る気持ちもなくなっていました。花の向きや挿し方、スポンジがきちんとカバーできているかなどより良い作品に仕上げられるため、気を使うことができました。こんなに楽しんで花を挿せたのは初めてで競技が終了した時はとてもすがすがしい気持ちと達成感がありました。入賞できず、悔しい思いでいっぱいですが、後悔はありません。一番自分らしい作品ができたからです。審査員の方々にも秋らしさが出ていると言ってもらえました。

全国大会まで指導しフラワーアレンジメントの楽しさを教えてくださった先生、こうしたら良くなるという技術面でサポートしてくださった講師の方、応援してくれた友達、影で支えてくれた家族のおかげで私はアレンジメントの良さを知ることができました。ありがとうございました。

# 全国和牛能力共進会和牛審査競技会 宮城大会二位

アグリ研究班畜産部顧問 塚田真希

全国和牛能力共進会(全共)という大会や、和牛審査競技をみなさんは今までご存じでしたか。今回矢澤さんの「牛好き」が、全校生徒はじめ、多くの方に全共や和牛審査というものを知るきっかけをつくってくれたのではないかと思います。和牛審査競技とは、牛を一頭一頭審査し、審査員と同じように牛の目利きができるかを競うものです。審査する人の好みもあり、答えが決まっているわけではありません。多くの牛を見ることで、秀でている牛を見抜く力を養います。感覚で分かる生徒もいますが、矢澤さんの場合は自分の中の理想牛を決めていて、ぶれることなく審査できるところが印象的です。

矢澤さんは非農家出身ですが、一年次からアグリ研究班畜産部に所属し、毎日の牛の飼育管理や、長期休業には何度も農家研修に出かけました。昨年度から農業クラブ主催の審査競技に挑戦し、経験を経て、今では彼女の中に理想の牛像があることが素晴らしいと思います。「飼育方法によっても変

五年に一度のチャンスを掴んだだけでなく、しっかりと成果を残したいよね!と意気込んで臨みました。この成果を残すことが出来たのは、彼女の努力はもちろん、陰で支えてくださった方が居ます。二十八回卒業生の小山さん(高森)です。今回の全共に、小山さんも牛「やえこ」を出品。その傍ら、下農生に対してもアドバイスや模擬競技など多くの協力を頂きました。全共当日も、生徒を研修生として受け入れてくださり、全国レベルの牛の手入れ方法を指導し

## 参加して 全国和牛能力共進会に

アグリサービスク2年 矢澤 七美

私は家畜審査競技会県大会で、最優秀賞をいただき、仙台市で開かれた全国和牛能力共進会に出場しました。私が出場したのは、和牛審査競技会「高校生の部」。各県から選ばれた代表者四十名との「牛の目利き」競技です。

当日の牛は四頭とも同じような体形で、すぐに判断することは難しかったです。結果発表までは約二時間だったのですが、私の中では四時間くらいの感覚でも長く感じました。結果発表のとき、優秀賞第二位「長野県」と耳に入った時

てくださいました。将来、畜産農家を目指している彼女にとって貴重な体験となりました。家族、学校だけでなく地域でも見守ってくださる人がいることを強みに、矢澤さんが牛とともにレベルアップしていく姿を見るのが楽しみです。農家になりたいです。夢は五年後の大会のとき、私の農場へ後輩たちに研修に来てもらえるような農家になっていくことです。自分の経験を話したり、学んだことを次に伝えていきたいと思えます。それが学校への恩返しになれば、と思っています。夢が叶うように今は毎日の飼育作業や、勉強をしっかりと知識をどんどん増やしていきたいと思っています。



私は今年、岡山県で行われた農ク全国大会農業鑑定競技・園芸の部に出場しました。夏休み前から学習を始めた、最初なぜこんなに早くからやり始めなければいけないの?思っていました。が、範囲がとても広がったのですぐに納得できました。大会に出れそうだからなんとなく、そんな軽い気持ちで取り組み始めてしまったので、最初はあまり真剣ではありませんでした。しかし、大会一か月前に先生に連れられていった実物確認の時に、ほとんど答えられず、初めて危機感に襲われました。それから、今までの時間をドブに捨ててたまるか、という気持ちになり、必死に勉強しました。大会当日には、結果を残して帰りたいと思いましたが、競技中は独特の雰囲気、



# 平成29年度日本学校農業クラブ全国大会 岡山大会農業鑑定(園芸)・(食品)優秀賞

園芸クリエイト科2年 原和志

緊張に負けそうになったり、パニックになりそうになりました。ながらも、大会速報の優秀賞受賞者の名前に自分の名前を見たときは、嬉しかったです。大会を終えてからも、大会までのことが昨日のことのように思えるほど、私にとって貴重な体験ができました。今まで支えてくださった方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

私は今年、岡山県で行われた農ク全国大会農業鑑定競技・園芸の部に出場しました。夏休み前から学習を始めた、最初なぜこんなに早くからやり始めなければいけないの?思っていました。が、範囲がとても広がったのですぐに納得できました。大会に出れそうだからなんとなく、そんな軽い気持ちで取り組み始めてしまったので、最初はあまり真剣ではありませんでした。しかし、大会一か月前に先生に連れられていった実物確認の時に、ほとんど答えられず、初めて危機感に襲われました。それから、今までの時間をドブに捨ててたまるか、という気持ちになり、必死に勉強しました。大会当日には、結果を残して帰りたいと思いましたが、競技中は独特の雰囲気、



# 全国大会

## 優秀賞を受賞して

食品化学科3年 井原 菜々美

私は、平成二十九年度日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技(食品)に出場し、優秀賞を受賞しました。農業鑑定とは、農業高校で使う道具の名前や基礎的な問題に答えて点を競うものです。食品の部では、共通問題、食品製造、食品化学、微生物、生産流通についての問題が出されました。私は全国大会のために勉強して、一番大変だったのが生産流通についてです。生産流通は平成二十八年から加わった範囲で過去の問題

# 宮城総文祭

## 弁論部門優秀賞

園芸クリエイト科3年 古内 舞 桜

私は八月二日、三日に行われた全国高等学校総合文化祭宮城大会の弁論部門に参加させていただきました。弁論部門は東松島市で行われました。初めて会場に足を踏み入れたとき、(こんな大きいステージで緊張せず発表することができるのだろうか)と、不安になったのを覚えています。大会前日の抽選会で、私の順番は出場者六十八人中二十八番目、第四グループの一番最後と

ましたが、福島復興を願う心を込めて発表することができました。緊張して少し止まってしまった所もありましたが今の自分が出せる力を出し切れたと思っています。

結果は六位で優秀賞を受賞することができました。たくさんの方の出場者の中でまさか私が優秀賞を受賞できるとは思っていなかったのですがとても嬉しかったです。受賞することができたのは、

# HONDAエコマイレックスチャレンジ2017

## 第37回全国大会

農業機械科3年 小林 雄 仁

私達農業機械班は、昨年の十月に栃木県で開催されたHONDAエコマイレックスチャレンジ全国大会に参加しました。

この大会は、自分達で作ったマシンでいかに燃費を抑え長く走れるかを競う大会です。なので、出場校はそれぞれ自作のマシンで大会に臨みます。今回私達は、去年の先輩達が残した車両に改良を施し大会に臨みました。



練習に付き合ってください。先生方、弁論の講師の先生、そして原稿作りを手伝ってくれた担任の先生などたくさんの方のおかげです。本当にありがとうございます。

全国大会に出場し優秀賞を受賞するということでも貴重な経験がすることができました。今回私が発表した内容がたくさんの人の心に届いてくれたら嬉しいです。

がコースを走っている姿はまさに壮観でした。結果はかなり下で、昨年の記録を超えるという目標は達成できませんでした。ただ一つ良かったのは、

の適切な指示、そして仲間との互いの協力が良かったからだと思います。班員でどうしたら燃費が良くなるか、どこが悪いかを考え、時には先生に教えて貰い自分達の知識を足して一つの目標を目指しました。大会に出場して良い結果を出す事より、全員で協力し合うことが大切だということをお学べた大会でした。

# 平成29年度日本学校農業クラブ北信越プロジェクト大会富山県大会

プロジエクト発表最優秀賞で全国へ 果樹班 園芸クリエイト科2年 前垣 沙 羅

私たち果樹班は現在、果物の鮮度保持に関する研究を行っています。プロジェクト発表に初めて行ったのは、昨年度の県大会でした。初めての発表はやはり練習の時とは違い、質疑応答時に悔しさが残ってしまいました。全体としては今までの練習の成果を発揮でき、北信越大会への切符を手に入れることができました。北信越大会に向けては、県大会の時での質疑応答の反省を行い、北信越大会では失敗しないよう努力をしました。その甲斐もあって、北信越大会では満足のいく発表と質疑応答をすることができました。しかし、北信越大会までくると周りも高レベルな研究・発表ばかりで、最優秀賞と

呼ばれた時は私達の努力が認められたように涙が出るくらいうれしかったことを今でも覚えています。全国大会では、満足のいく結果を出すことができませんでしたが、それ以上に得たものが多く、貴重な体験ができました。最後に、今回の研究で得た知識を発表することは私にとつて難しいことの連続でしたが、班員みんなで行ってきた研究に誇りをもつこの活動をして楽しかったという気持ちを込め、笑顔で発表することが大切だということをお学びました。今回の参加で学習した所をこれからの活動に生かせるよう残り一回のプロジエクト発表全員一丸となって頑張るつもりです。

### 県大会意見発表分野I類 最優秀賞

園芸クリエイト科3年 加古 太久摩

昨年七月に行われた意見発表会の県大会で最優秀賞を受賞し、私の人生は大きく変わったと思います。

正直なところ、私は北信越大会まで進めるとは思っていませんでした。校内発表をする時も、「どうせやるならとことんがんばろう。」という気持ちで挑み県大会に進むことが出来ましたが、当時の私は、ただ上に進みたいと思って発表していました。しかし、県大会に県大会に参加し、同じ分野の仲間の発表を聞いていると、「そんな考え方があったか!」「それはおもしろい。」などと、いつの間にか発表を楽しく聞いていた自分があったのです。その時から私は、ただ上に進むのではなく、もっと色々な話を聞くために、上に進みたいと思うようになりました。また、発表で聞いたことは自分の知識や今後の参考にもなり、本当の意味での意見発表会を感じる事が出来たのではないかと思います。



### 県大会意見発表分野II類 優秀賞JA賞

園芸クリエイト科2年 熊谷 萌

昨年の夏、私は上伊那農業高等学校で開催された意見発表会分野II類で、優秀賞とJA長野県賞という二つの栄誉ある賞を頂きました。

成績発表で自分の名前を呼ばれた時は本当に驚いて「本当に私なのか。」と疑いました。「実質二位に選ばれたよ。」と、先生に言われたうれしさが込み上げた事を思い出します。壇上上がった時、私は先生や家族のおかげだなと思いました。母は毎朝早い時間に学校まで送ってくれて、帰宅した直後深夜まで練習につきあってくれ、間違えた所など細かくチェックもしてくれました。先生は朝の

取り組みをしていて感じました。発表が始まるとさらに緊張が高まりましたが何回も練習したおかげですラズラ発表することができました。発表が終わると審査員の方や聞いていた人に拍手をして頂き、発表内容が伝わったと思いい私は安心しました。

結果は優秀賞でした。とても驚き、嬉しさがこみ上げてきました。これまで意見文作りから質問対策、発表



### 県大会意見発表分野II類 優秀賞JA賞

園芸クリエイト科2年 矢崎 文哉

私たちはアグリ研究班畜産部は上伊那農業高校で開催された平成二十九年度農業クラブ県大会各種県大会のプロジェクト発表会分野III類「ヒューマンサービス」に出場しました。私たちが住むここ下伊那地域は高齢化が進み、数多くある農家さんは後継者がいないということ、家業の農業をあきらめて離農してしまう方が多いのが現状です。「そんな下伊那の現状をなんとかしたい!」と畜産部全員は思

い、畜産の中でも飼育しやすい鶏に注目し、さらには希少価値の高い長野県のブランド地鶏である信州黄金シャモを少しでも広めていこうと考えました。「信州黄金シャモ」は歯ごたえ・うま味・風味の三拍子がそろい、全国的にも珍しい鶏です。四月から始まった県大会までの四ヶ月間、様々な課題にぶち当たりました。途中で投げ出したこともありました。しかし、全員で一つ一つ協力しながら解決をしていく中で、優秀賞JA長野県賞という賞を受賞できてとてもうれしかったです。しかし、私たちがまだ満足はしていません。理由は賞の獲得が私たちの目的ではないからです。下伊那に信州黄金シャモが広がっていないからです。これから信州黄金シャモの魅力を広げ、皆さんの笑顔が広がるように私たちは全力で普及活動をしていきます。

### 県大会意見発表分野III類 最優秀賞

アグリサービスク2年 林 ひなの

私は昨年、白山市松任学習センターで行われた学校農業クラブ北信越ブロック大会意見発表分野III類に出場しました。この経験を

通して学んだ事が三つあります。一つ目は、文章力です。私は文章を書く事が苦手でしたが、この大会に出場する事になり、先生と協力しながら意見文を完成させることができて良かったです。

二つ目は、話し方です。私が一番意識した所は抑揚です。聞いている人に私の思いが伝わるような読み方を練習しました。

三つ目は、対応力です。質問に慣れるために先生だけでなく、友達にも様々な質問を出してもらいながら対応力を養いました。当日、北信越ブロック大会に出場した学校と違う

# 県大会農業クラブ発表会最優秀賞

## アグリサービスク3年 服部 和磨

七月八日に上伊那農業高校で、各種県大会が行われ、その中でもクラブ活動発表会へ農ク役員で参加しました。この時の発表内容は、昨年から続けてきている平谷村高校生直売所の運営でやってきたことを発表しました。私は一、二年と農林委員会に所属してきましたが、このような発表会が県大会にあるということは知りませんでした。そのためどのような雰囲気で行われているのかもわからない状態の中での発表でした。昨年の平谷村での活動の反省会の時に作ったものを元に発表内容を決めました。

県内の各校の発表がある中でも、私たちのした発表が最優秀賞に選ばれました。正直、ここまで良い賞が取れることは予想もしてなかったため、とても嬉しかったです。しかし、他の学校の発表も多くあったため、どの学校でどのような活動をしているのかをよく

知ることのできる良い機会だったので、とても勉強になりました。今回少し後悔していることは、平谷村についての発表しきっていないため下農ではこの他にどのような活動をしているのかを伝えることが一切できていなかったため、多くの活動について発表することができていたらよかったです。この違いだけでなくより良い意見交換ができたのではないかと思います。

結果としては最優秀賞を受賞してとても嬉しかった気持ちがある反面、後悔が残ってしまった所もあり残念でした。しかし、事前からしっかりと練習をして発表することができたので、堂々と発表することができました。来年もこの発表会に参加すると思いますが、また最優秀賞を目指して頑張ってもらいたいなと思います。そして喜びを感じてもらいたいと思います。

# 第37回英語弁論大会県予選最優秀賞

## 園芸クリエイト科2年 井坪 学 斗

昨年度の六月、私は英語弁論大会に本校代表として参加しました。英語弁論大

会で最優秀賞という大変栄誉ある賞を受賞して今私が思うことは、本当に多くの

人々の力を貸して頂いたものだと思っています。私一人だけでは絶対にできなかったことだと思っています。私の思いを英文に直すのに一緒に考えてくれた松岡先生やA.L.Tの先生、「意見文の内容でいいから出てみないか」と勧めてくれた担任の先生、作文の発表を聞いてくれたたくさん友達や同じクラスの友達、本当に多くの人達にお世話になりました。当日はリラックスして発表できるようにラックスムードを自分から作っていました。自分の番が近づくと、やはり心臓のドキドキ感が高まりました。いざ自分の番が来るとすごく緊張をし、直前まで覚えていた英文もすっかりとんでしまい、タジタジになってしまいました。しかし、めったにないことなので、楽しんでやろうと思いい、最後までなんとか発表しました。たくさんの人に助けてもらった今回の賞。これからどうつなげていくかが大事であり、助けてくれた方々への恩返しだと思うので、これからの生活で有意義な行動ができるように意欲的な態度や姿勢を数多くし、これからもより多くのチャンスを得るように日々様々な事に感謝し臨んでいきたいと思っています。

# 会務報告

## 同窓会幹事長 北原 千歳(高31回卒)



会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

五月二十日に同窓会理事・代議員会が開催され、平成二十八年度事業・決算報告をはじめ、平成二十九年度事業計画・予算案が承認とすべく緊張をし、直前まで覚えていた英文もすっかりとんでしまい、タジタジになってしまいました。しかし、めったにないことなので、楽しんでやろうと思いい、最後までなんとか発表しました。たくさんの人に助けてもらった今回の賞。これからどうつなげていくかが大事であり、助けてくれた方々への恩返しだと思うので、これからの生活で有意義な行動ができるように意欲的な態度や姿勢を数多くし、これからもより多くのチャンスを得るように日々様々な事に感謝し臨んでいきたいと思っています。

# 平成29年度 会員の異動

同窓会員	
二十九年三月卒業により	一五七名
正会員になった人	
二十九年四月入学により	一六三名
準会員になった人	
正会員数	一八、五四六名
旧制	二、四八九名
高校	一六、〇五七名
内男子	一〇、九五〇名
女子	五、一〇七名

中心とした現在の進捗状況が報告されました。

坂巻総務部長からは、二〇二〇年十月十日、記念式典・祝賀会を飯田市内で開催したい旨提案がなされました。記念式典の際、九十周年記念事業の式典の際お招きした中国蘇州農業職業技術学院の皆様を招待することが確認されました。実行委員の皆様及び関係者から希望を募り、一月下旬に、来日依頼のための訪中を実施し準備を開始しました。

実行委員会に先立ち、各部会・小委員会等の会議が開かれ、百周年記念事業に向けての企画等進められております。とりわけ、遠山善治前校長先生を編纂委員長とする記念誌編纂委員会は、毎月稲丘会館にて会議がもたれております。百周年にふさわしい記念誌ができ上がりそうであると、矢澤記念誌部長より報告がありました。

久保田資金部長からは、現在の募金活動の全体としての進捗状況の報告がありました。今後各支会長さん、事務局長さんらと実行委員会関係者との合同会議を一月末開催し、各支会の募金活動の進捗状況をお互い把握し、資金面から事業が成功するよう考えております。

会員の皆様方には、百周年記念事業の募金活動へのご理解ご協力に感謝しております。今後とも母校の発展のために、より一層のご支援を賜りたくよろしく申し上げます。

本校公式ホームページ内に同窓会ページを併設しております。更新がこまめにできておりませんが、この稲丘時報もデジタルデータにて公開しますので、過去のものも含めご覧いただければ幸いです。

平成28年度卒業生(平成29年3月卒業)の進路状況

28. 3. 31現在

卒業生数		人数	比率	計	合計				
男子	女子				合計	アグリサービス	農業機械	園芸クリエイト	食品化学
76人	81人			157	39	40	41	37	
				76	7	40	19	10	
				81	32	0	22	27	
合計	157人			38	2	20	13	3	
就職者	管内	60	38.2%	22	9	0	6	7	
	管内	4	2.5%	0	1	3	0	0	
	管内	4	2.5%	0	0	0	0	0	
	県外	2	1.3%	2	0	0	0	2	
	公務員	2	1.3%	0	0	0	0	0	
進学者	四年制大	11	7.0%	6	1	2	2	1	
	短期大学	24	15.3%	22	8	0	7	7	
	県農大等	4	2.5%	3	1	1	1	0	
	専修学校等	50	31.8%	23	2	12	3	6	
	専修学校等	50	31.8%	27	12	0	7	8	
未定	0人	0	0.0%	0	0	0	0	0	

進路状況

平成28年度(平成29年3月卒業)

卒業生の進路状況

進路指導部長 何原 津壽子

昨年度の卒業生の進路状況(別表参照)は、就職者は六十八名で、昨年より三名の増加です。事業所の求人数は、過去五年間で最高だった昨年と同じくらいなのですが、求人人数は、やや減少しました。求人職種は、製造業が多く、販売や事務を希望する生徒には厳しい状況です。

当初七十四名の就職希望者がおりましたが、結果としては順調に決まっていきました。応募前の事業所見学では、他高校生も数名見学に来ていたという報告を受け、いくつかの事業所に希望が集中するのではないかと心配しましたが、校内では比較的希望

が重複せず、心配をよそに、結果としては、一次でほとんどの生徒が希望の事業所から内定をもらうことができました。再受験したのはほんの数名で、それもスムーズに希望の企業から内定をもらうことができ、早い段階で就職先を決めることができました。就職が順調決まる背景には、各事業所内での同窓生の存在が多分に影響していると感

じます。同窓の先輩が今まで積み重ねてくれた「下農ブランド」が広く浸透しているお陰で有り、本当にありがたいと思います。こうした信頼は一朝一夕に得られるものではありません。これらの卒業生も本校と事業所とのこの良いつながりを是非続けていってほしいと思います。

進学は、八十九名でした。進

大学二十四名、農業大学校四名、専修学校など五十名となりました。農業関係の学校への進学は東京農大に三名、県の農業大学校に四名でした。専修学校の分野別では、看護の希望者四名が一般試験に挑戦して合格しました。その他主な分野では、自動車整備、調理・製菓、医療系、理美容、医療事務・ビジネス、航空、動物、フラワー、公務員、木材造形などです。推薦の少ない看護を除くと、ほとんどの生徒が推薦入試(指定校推薦、AO入試、公募推薦)を利用して合格しました。専修学校を中心にして、入試の時期が早まり、複数回行う傾向が続いています。

来年度の高校入学者が卒業する時に大学短大などへの入試制度が大きく変わります。高校はその対応に迫られます。

進学 4年制大学

岐阜女子(家政)、東海学園(健康栄養)、名古屋文理(情報メディア)、愛知学泉(家政)、名古屋経済(人間生活科学)、静岡産業(経営)、山梨学院(法学)、東京未来(こども心理)、東京農業3(農学・応用生物・生物産業)

短期大学

愛知学泉(生活デザイン)、愛知工科大学自動車短大(自動車工業)、愛知江南(こども健康)、飯田女子16(幼児教育3・家政11・看護2)、至学館大学短大部(体育)、高山自動車(自動車工学)平成医療(リハビリテーション)、名古屋文理大短大部2(食物栄養)

農業大学校等

長野県農業大学校4(総合農3・果樹実科)、岐阜県立森林文化

アカデミー

専修学校

看護4・医療6、自動車整備7、調理・製菓7、理美容5、医療事務・ビジネス4、航空3、動物3、フラワー2、公務員2、木材造形2、介護福祉1、スポーツ1、栄養1、写真1、芸能1

就職

管内

旭松食品、アジア電子工業、アルファシステム、飯田ボイラー、イイダアックス、NSKマイクロプレシジョン、エヌティーツール、エフプラス、EXCHANGE、岳、キンポー・メルテック、コーエー精機、KOA七ヶ里の杜2、輝山会記念病院、共進電気、甲信越福山通運、コシブ精密、コバックス2、小林製袋2、

三洋工具、JMC3、サン・コーポレーション、シチズン時計マニファクチャリング、信濃雪、柴田科学、信州ガス、信菱電機、信和サービス南信、杉本印刷、スタンレー伊那、高田精機、多摩川マイクロテック、津具屋製菓、天恵製菓2、天龍、TDK庄内、戸田屋、トマツ本店、七ヶ里農園、NEXAS、はやし、原鉄、プリモケミカ、船橋屋、丸三玉木屋、南信州菓子工房3、みなみ信州農業協同組合2、三菱電機中津川製作所飯田工場、宮下製氷冷蔵、宮下石材

県内

関東甲信クボタ、長野ダイハツ販売、長野県Aコープ、フジキオーベルジュエスポワール

公務員

天龍村役場、平谷村役場

編集後記

稲丘時報第八十二号ができあがりしました。多くの皆様から原稿を寄せていただきありがとうございます。改めて感謝と御礼を申し上げます。一年間の活動をまとめる関係で冬の発行となります。配布に関しても、関係の皆様にはお手数をおかけしますがよろしくお願ひします。今年度より会員の訃報につきまは、紙面の関係で省かせていただいております。二十八年度決算書については、HPで掲載しております。(稲丘時報係)